

協働ステーション中央の
イベント報告とお知らせ

伝え方で変わる
情報誌づくりのポイント

— 文章・写真・編集術 —

ヒト・コト・モノの魅力を発信し、多くの人に共感してもらえたら、今よりずっと伝えることが楽しくなるはず。そのためには必要な情報を、読み手に伝わるように組み立てる必要があります。情報誌づくりワークショップを通じて文章の書き方や写真の撮り方、誌面の編集ポイントを実践的に学びます。はじめての方でも無理なく参加できる内容です。

①7/31、②8/7、③8/28、④9/18

全回とも(木) 18:30 ~ 20:30

【講師】石井栄子(フリーライター、編集者)
佐伯直俊(フォトグラファー)

【対象】中央区在住・在勤・在学中で地域貢献活動に関心のある方、情報誌作成担当者、関心ある方で、4回とも参加できる方

【参加費】無 料

【場所】協働ステーション中央

◆第1回:情報誌はこうしてできている

テーマや企画のたて方、絵コンテの作り方など、完成までのプロセスとポイントを学びます。

◆第2回:誌面を構成しよう

グループで実際に誌面をつくりながら、伝わるために必要な情報の入手や整理の方法を学びます。

◆第3回:誌面をいきいきさせる写真を
撮ろう

写真について、構図のとおり方や魅せる撮り方、選び方などを実践しながら学びます。

◆第4回:情報誌を完成させよう

文章や写真などの情報を実際にレイアウトし「十思カフェ通信」を完成させます。発表を通じて情報発信のポイントを振り返ります。魅力的な情報誌は協働ステーションで配架予定です。

新規利用登録団体紹介

■NPO法人MEMORO「記憶の銀行」

60歳以上の方々の昔の記憶を映像や音声で記録して、インターネットで公開する事業を実施しています。高齢者から次世代への知識、経験、伝承を促し、未来に伝えていくために生まれた無料のオンラインアーカイブです。

企業・自治体・団体などのアーカイブ構築事業をはじめ、一般から投稿された動画の内容を確認、編集・公開するウェブサイトの運営事業、ニュースレターの発行やブログの更新、フェイスブックなどでの情報発信などの啓蒙・啓発事業、また、中学・高校・大学等でワークショップ・出前授業等の実施を予定しています。

MEMOROの活動に興味のある方は、下記までお問合せください。

www.memoro.org/jp-jp/

■ケアサポートセンター十思

2014年9月に開設予定の地域密着型特別養護老人ホームです。「住み慣れた地域で、その人らしく安心して生活できるサービスの提供」をめざし、地域の医療・福祉サービスの多面的な提供を心がけていきます。「自分や家族、友人が利用したいと思うサービスの提供」という生活者の視点を基本理念に、住まい、医療、介護、予防、生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの運用に努めます。中央区で、経験やノウハウを生かし、在宅で暮らす高齢者の「今の生活」を共に考え、地域貢献的なアプローチをすることで、一つひとつの課題を具体化し解決していく地域展開の潤滑油としての役割を果たしていきたいと考えています。

運営:社会福祉法人長岡福祉協会首都圏事業部 n-m-d.jp/

登録団体の皆様からのイベント情報を募集しています。
※紙面やスケジュールの都合で掲載できない場合がございます。ご了承下さい。

登録団体からのお知らせ

■NPO法人NPOサポートセンター

NPOキャリアアーク
「NPOで働くということ」

社会課題の解決を仕事にするスタッフが働きがいなど率直な想いを語ります。

日 時:①7月30日(水) 19:00 ~ 21:00
②8月6日(水) 19:00 ~ 21:00

ゲスト:

① 中尾文香(株)テミル、NPO法人ティーセントワーク・ラボ
② 岩下広和 認定NPO法人JUON(樹恩) NETWORK

会 場:協働ステーション中央

blog.canpan.info/npsc/archive/593

■太陽のマルシェ実行委員会

日本最大級規模の
新しい都市型マルシェ

毎月第2土曜日・日曜日に中央区勝どきで定期開催します。野菜などの購入ができる従来のマルシェの要素を残しつつ、収穫体験など親子で様々なアクティビティが楽しめます。

日 時:8月9日(土) 10:00 ~ 17:00
10日(日) 10:00 ~ 17:00

会 場:月島第二児童公園(中央区勝どき1-9-8)

www.timealive.jp

■公益社団法人 危機管理協会

子育てママの
体験型防災セミナー

災害から子供を守るためにはどうしたらいいの? 子どもがいる家庭ではどんな備えが必要なの? 本当にこの備えで大丈夫なの? いろいろ調べるけど、何がいいのかわからない。そんなママのために、新しい形の「体験型防災セミナー」を開催します。

日 時:8月8日(金) 10:30 ~ 13:30

会 場:協働ステーション中央

参加費:1,000円

(防災アイテム、ゲーム、講習、資格証取得)

cma-atmama.org/

協働マガジン

8

Kyodo Station Chuo

「あつい!」プランづくりの夏

進行中! 「地域の協働マッチング」

3月8日(土)に開催した見本市での「協働アイデアコンテスト」。「中央区に役立つ」、「中央区と連携したい」、「そんな思いを込めた29件の事業発表をきっかけに、新たな連携による活動が進行中です。今回は、その中から、2つの事例をご紹介します。詳細は中面「見本市後のつながり」をご覧ください。

協働ステーション中央では、これまでも様々な形の協働の支援に取り組んできました。昨年度は、社会貢献活動団体(町会・自治会、企業、NPO法人、ボランティア団体)から年間200件以上の相談を受けており、協働ステーション中央がコーディネーター役となって個別マッチングを実現してきました。

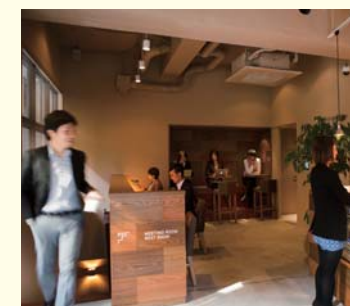


まちの市民活動紹介

LEAGUE (リーグ)

LEAGUEは、「未来のビジネスフレンドとつながるコワーキングスペース」をコンセプトに、ワークスタイルに応じて空間や使い方が選べるオフィスの複合施設です。個人や小さな企業が集まり、スペースやサービスを共有し、快適に働ける場を提供しています。モダンなデザインのスペースには、コーディネーターというスタンスで利用者をサポートするスタッフが常駐しています。また、空間や人的サービスに加え、SNSを用いて自分のナレッジ(知識・経験・情報)を公開・共有することで、利用者どうしが連携できるしくみを持っています。コミュニティをベースにしたビジネスマッチングが起こりやすいプラットフォームやイベントを仕掛けていくことで、継続的なビジネス

フレンドになることが可能な「場」として展開しています。
HP: league-ginza.com
www.facebook.com/league.ginza
中央区銀座3-11-3
東京メトロ銀座駅A12出口より徒歩5分
都営浅草線東銀座駅A7またはA8出口より徒歩2分
運営:UDS株式会社/
www.uds-net.co.jp



1階「立ち寄れるカフェラウンジ」で待ち合わせ。

世界のNPOや社会起業家が注目のマネジメント手法 「リーン・スタートアップ」

インターネット業界で生まれた「リーン・スタートアップ」というマネジメント手法が、短期間で急成長を目指すNPOに広がっています。「事業を小さく生んで、成功の可能性を早い段階から見極めていくことが結果として成功の確率を高める」ためには、洗い出された課題を速やかに改善する必要性があり、事業の継続、方向転換等、スピード感のある判断が重要だとしています。先進的なNPOは、商品やサービス、キャンペーンの開発等にこの手法を導入し、無駄な時間・労力・お金の削減に挑戦しています。『リーン・スタートアップ——ムダのない起業プロセスでイノベーションを生み出す』(日経BP社)の著者であるエリック・リースは、不確実性が支配する環境なら、どんな業種・活動分野にもこの原則は応用できると宣言しており、米国政府や自治体も積極的にこの「新しいマネジメントの道具」を採用しています。思いが先立ちアイデアが練り込めないまま走り出してしまった、顧客・支援者・関係者の声を拾ってニーズに合ったサービスの完成を目指したい、無駄なく、社会課題を解決する方法を獲得したい、そんなNPOにおすすめです。

(関連サイト) Lean Startup Japan
leanstartupjapan.org
www.facebook.com/LeanStartupJapan

協働マガジン 8

協働ステーション中央は、(特活)NPOサポートセンターが中央区からの事業委託により運営しています。

協働ステーション中央

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町5-1 十思スクエア2階

TEL: 03-3666-4761 FAX: 03-3666-4762

E-mail: info@kyodo-station.jp

中央区社会貢献活動情報サイト: http://chuo.genki365.net/

開館時間: 火曜～日曜 10:00 ~ 19:00 ※会議室の利用は 9:00 ~ 21:00 (要予約)

休 館 日: 月曜、年末年始、施設点検日

交通 駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮下さい。
東京メトロ日比谷線「小伝馬町駅」4番出口徒歩3分。江戸バス北循環「小伝馬町駅」下車徒歩4分



1 平成26年度協働提案事業特集 [1]

協働ステーション中央では、区と社会貢献活動団体との協働を実現する協働提案事業のコーディネートを行っています。今年実施の4事業を順次ご紹介していきます。

妊娠初期からの継続的な「孤育て予防」のための情報発信事業

提案団体：NPO法人きずなメール・プロジェクト
担当部局：福祉保健部健康推進課

この事業は、核家族化の進行やマンション居住者の増加に伴う育児への不安感や孤立感の解消を図るとともに、多様化する子育て支援ニーズに対応するため、産前産後の経過に応じたタイムリーな子育て支援情報を携帯端末から配信しています。

6月20日から、「中央区 母と子の健康モバイルサイト」がスタートしました。

産前産後のご家族が安心して過ごせるように、お腹の赤ちゃんの成長の様子や産後の子育てへのアドバイス、保健師さんからのメッセージをお届けしています。

■ 3種類の「あのねママメール」

1. あのねママメール(マタニティ)・・・産前・女性向け
2. あのねパパメール・・・産前・男性向け

3. あのねママメール(育児)・・・産後・家族向け

※他にも産後ママ向けの「かんたん予防接種スケジュール」機能もあります。

●利用登録:

母と子の健康モバイルサイトの画面上で登録できます(右記QRコードから登録画面にアクセス可能)。「赤ちゃん安心ポータル」での会員登録、「マイメニュー」で使いたいサービスが選べます。

2013/4/29 8:33
From: info@chuo.city.ty.jp
Subject: あのねママメール (マタニティ)

妊娠25週と0日
出産予定日まで105日

(きずな)より
<赤ちゃんの様子>
この時期は、胎の発達が進んで、胎の中に血管ができてきました。この血管が、暖った空気の中の酸素を取り入れ、おにに届かせます。

<今日の予定>
最近、体重増加のペースが早い、でも食欲が抑えられないという人は、海軍やさのこと、野菜類などの糖質の食材を上手に取り入れましょう。食物繊維やたんぱく質も同時に摂ることができるとよいです。野菜は、ゆっくりよく噛むことで満腹感が得られます。野菜は、1日の摂取量の半分を目安にしましょう。

(中央区より)
「アトピー」(妊娠中の生活の質、必要な栄養がとれる)が料理を、実食、実食、実食をおして紹介します。お友達づくりの機会にもなります。ぜひご参加ください。お申し込みは、区のお知らせをご覧ください。

その時期に役立つ区の子育て情報も入っています。

協働ステーション中央では、区内企業の地域貢献活動について、担当者に取材をしています。今回は、自社ビルを「和の学び場」(わなびば)という地域の憩いの場の創出による地域貢献について伺いました。

企業取材 第6回

株式会社 野田
代表取締役社長 野田 学

■株式会社 野田とは

60年以上前に日本橋に店を構え、日本の伝統文化「きもの」を扱う呉服卸業です。自社で所有しているビルの1フロアに、2012年12月から「わなびば333」をオープンさせました。レンタルスペースとしての機能だけではなく、「和の発信基地」として、伝統・文化、心を通じ、ゆとり時間を提案しています。

■「和の発信基地」としての「わなびば333」

「わなびば333」は、元々は呉服の倉庫兼展示室として使っていたフロアを改装し、これまでの展示会場としての機能だけではなく、



「わなびば333」のレンタルスペース

皆様と共により豊かな在り方、生き方を探求し共有する仕掛けとしてベースとなる居場所を(スペース)を創りました。「わなびば333」を通じて、「和の心」(愛・感謝・赦し……)を共有、発信するため、様々なコンテンツを取り入れ、ゆとり時間を体感できるイベントを主催、共催、応援しています。

■ママとボク(ワタシ)の居場所づくり

「わなびばかふえ」

「わなびば333」をオープンさせた際、マンションなどでは階下を気にしたり、公園は小さい上に防犯・安全面などから目が離せず、思いっきり遊べないという環境の中で、ママのストレスを解放したい!と考へ、レンタルスペースの利用予約が入らない空き時間を活用し、「わなびばかふえ」タイムとして開放しています。「お子様には安心して遊べる場」、「ママには癒される場」をコンセプトに、会員制のスペースを完全無料開放して、近所のママたちの憩いの場として、家族で遊びに来たり、お友達どうして集



わなびばかふえ

まったり、活用いただいています。
※キッズコーナー、キッチン、授乳室、おむつ替えコーナー完備。※飲食物持込・調理自由。

■「わなびば333」を通して実現していきたいこと

人の居場所づくりの面白さを実感しています。大人の自分から見てもあこがれる「わなびと(わなびばに集まる人)」と、ここに来ている子ども達との出会いから、地域で様々なことに一生懸命取り組んでいる親とは違う大人に出会って、大人の概念を変えて夢や希望を持ってもらえるような、そんな場にしていきたいです。

基本的には、新たなことを「できない」ではなく、「どうやったらできるか」を地域の方と考えていきたいと思っています。

今年中には、ビルの1階で、地域で一人ひとりが役割を生む居場所を目指したカフェをオープンする計画をしています。拠点としての機能を拡充した「和の発信基地」を確立したいと思います。株式会社野田(東日本橋) www.kimonodanet.com/ ※わなびば333(333:東日本橋3-3-3の番地の数字から)

地域のお祝いで開催した「餅つき」



2 見本市後のつながり

地域の協働マッチング2事例を紹介します。

■おにぎ隣人まつり

4月15日、勝どきの子育て支援施設「グロースリンクかちどき」、食育活動をしているfoozit、前橋地域づくり連携協議会の3者による協働で、地域食材で展開する企画「おにぎ隣人祭り」を開催しました。その後、日本おにぎり協会との連携も始まるなど、新しい区内在住者同士のコミュニティづくりに向けて多様なつながりへと広がっています。現在、おにぎ隣人祭りは毎月開催しています。

www.gr-link.jp/report/20140416-rinjin/



■日本橋くされ市

5月25日、べつたら市地域振興会の主催による地域発のフリーマーケット「日本橋くされ市」が開催されました。見本市で出会った日本橋パパの会をはじめ、近隣の町会、店舗、住民の方によって40店舗が出店。新しく立ち上がった振興会による初の主催企画という

ことで、新聞・ラジオなどのメディアにも取り上げられたこともあり、地域のイベントに初めて参加したという住民の方も多く、2,000人の来場者と地域交流の輪を広げました。

kusareichi.com/



協働ステーション中央 (イベント報告)

★十思カフェ 第35回 2014.5.22

作り手のぬくもりが感じられるお弁当 お母さんの愛情弁当の配達から伝える「地域ごはん」

ゲスト:梅木 容 うめめし本舗

月島を拠点にケータリング・仕出し弁当店「うめめし本舗」を営む梅木さんをゲストに、料理を囲んでの開催となりました。「うめめし本舗」は、「うめ(梅木)さん」と「めし(飯野)さん」が始めた宅配弁当のお店。家庭でのごはんのようにほっこりする手作りのお弁当を日替わりで提供しています。梅木さんの食への関心は学生時代から。その後、フリーの編集者をしながら高齢者の配食サービスを立ち上げ、活動するうちにもっと記憶に残るお弁当を届けたいと思うようになったそうです。その想いは、お弁当の随所にあらわれ、おかずも山盛り7種類、素材も中央区や故郷(山形)から仕入れるなどのこだわりが。「お昼をひとりで食べる人が多い」「マンション住まいで地域との関わりがない」「妻が里帰り出産中で夕食をしていたら飽きてしまった」など、参加した方々のエピソードからも今日の食をめぐる地域課題が垣間見えました。



★十思カフェ 第36回 2014.6.19

自分でできる コリ解消のヒント! 近所の鍼灸師マッサージ屋さんから教わる「はり・灸・マッサージ」活用法

ゲスト:石山 ひなこ はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧師

ゲストの石山さんは、小伝馬町のマッサージ店等で働く傍ら、東洋医学を志す学生が学校の枠を超えて交流し学んでいく場づくりを行っています。当日は、肩こり症状の悩みや、健康に興味・関心のある方など、申し込み時から意気込みが伝わる20名が参加。参加者の症状に合わせた自分でできる簡単なケア・方法を、参加者どうしが交替で試し合いました。希望者は、触診やアドバイスなどのセルフケアも受け、石山さんの手から溢れるエネルギーとあつ〜い癒しの気(パワー)を感じていました。体が軽くなった参加者どうしの情報交換・交流もあり、石山さんとの新たなつながりが生まれた会でした。

